

平成 26 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 鈴木 郷 史
(コード番号：4927 東証第一部)
問合せ先 取締役広報・IR担当 藤 井 彰
(TEL. 03-3563-5517)

ポーラ・オルビスグループ 2014～2016 年中期経営計画について

当社は、2014 年度から 2016 年度におけるグループ中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

ポーラ・オルビスグループは、2020 年に向けた長期ビジョンを掲げており、2014～2016 年中期経営計画は 2020 年へ向けたセカンドステージとなります。本中期計画では「国内事業の更なる収益基盤強化と海外事業展開の加速」「資本効率改善による企業価値向上」を目指してまいります。今後も国内外の市場環境の変化、厳しい競争環境が想定されますが、グループ全社一丸となって達成に向けて取り組んでまいります。

記

1、2014～2016 年中期経営計画

(1) 基本方針 「国内の更なる収益基盤強化と海外展開の加速」

(2) 経営指標

- ・連結売上高 : 年平均 3～4%の成長 (2016 年約 2,100 億円)
- ・海外売上比率 : 2016 年 15%以上
- ・営業利益額 : 年平均 15%以上の成長
- ・営業利益率 : 2016 年 11%以上

※以下、今中期計画からの新規追加指標

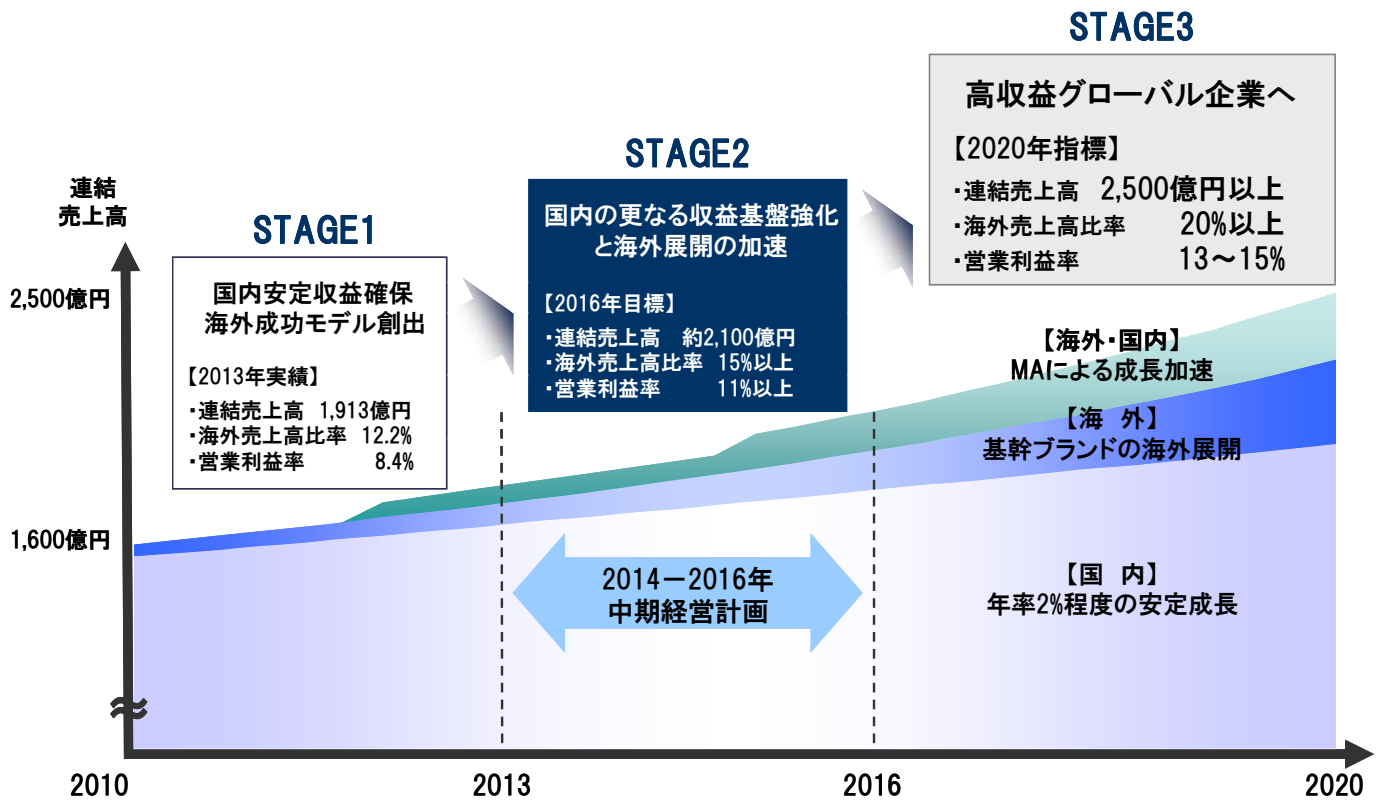
- ・資本効率 : 2016 年 ROE8%以上
- ・株主還元 : 2014 年 12 月期から連結配当性向 50%以上

(※2014 年 12 月期年間 87 円予定)

(3) 6つの重点戦略

- ①「基幹ブランドの安定成長とグループ収益牽引」
 - ・ポーラ：長期的な安定成長につながる事業基盤強化
 - ・オルビス：ブランド再構築の完遂による成長軌道の回復
- ②「育成ブランドの売上成長と収益化」
 - ・育成ブランド全体で、年平均 10%の売上成長と 2016 年黒字化実現
- ③「海外ブランドの高成長維持と収益貢献」
 - ・アジアを中心とした利益ある成長の実現
- ④「基幹ブランド海外戦略の再構築」
 - ・ポーラ：ハイプレステージブランドに適した販売チャネルへの集中
 - ・オルビス：中国でのネット通販の拡大
- ⑤「経営基盤の強化（研究・生産・人材）」
 - ・国内外で通用する新価値創出と高付加価値商品開発
 - ・国内生産体制の再編によるコスト競争力強化
 - ・グローバルに活躍できる人材や次世代の経営者候補人材の育成
- ⑥「資本効率の向上と株主還元の充実」
 - ・2016 年 ROE 目標 8%以上
 - ・連結配当性向 50%以上をベースとし、安定的な配当を継続的に実現

2、長期ビジョン <2020年目指すべき姿>と今中期計画の位置づけ



以上